WebClass Ver.11.13.0 リリースノート

日本データパシフィック株式会社
2022/7/29

1 概要

LTI 1.3 に対応しました。また、成績評価機能では各学生に直接に点数を登録できるようになりました。

コースのレストア機能では、未対応だった履歴データの対応に加えて、この画面でのみ 10GB までのサイズのファイルをアップロードできるようになりました。

1.1 必要な環境

- WebClass ver.11.02 以上
- PHP require 5.3 ~ 7.3
- PostgreSQL require 8.4 ~ 13

1.2 アップデート時に確認が必要な点

v11.12.0 以降からのアップデートでは、アップデートに時間のかかる処理はありません。「主な変更点」および「変更点一覧」をご確認ください。

2 主な変更点

2.1 LTI 1.3 に対応

現在推奨されている LTI 通信規格である LTI Version1.3 に対応しました。

IMS Global Certification: WebClass

<https://site.msglobal.org/certifications/datapacific/webclass>

システム管理者もしくはコース管理者の「LTI ツール設定」から LTI 1.3 の連携ツールを登録して使用します。

LTIツール新規登録

* のある項目は必須です

ツール名 * ?

説明 ?

LTIバージョン ? LTI 1.1 LTI 1.3

ツールURL * ?

公開鍵の取得方法 ? 公開鍵セットURLを設定 公開鍵を設定

公開鍵セットURL ?

ログインURL ?

リダイレクトURL ?

ツールの表示 ? 表示 非表示

カスタムパラメータ ?

デフォルト表示形式 ? 埋め込み 新規画面

※拡張機能である LTI Advantage は未対応のため、使用時は接続先ツールの要件をご確認ください。LTI Advantage は 2023 年 1 月頃に対応予定です。

2.2 成績評価機能

「評価修正」の列が加われました。そのうち「補正点」の列では、学生に対する手元の評価の点を直接登録できます。評価に含める教材を設定してあるときは、「補正点」は加算されます。一方「上書き」の列は、教材の点と「補正点」の合計にかかわらず、指定された値がそのまま評価に採用されます。例えば何かしら特殊な理由で学生に通常の計算式で評価を付けられないとき、取り決めた特殊なコード（例えば 999 など）を指定します。

評価 = 教材 A + 教材 B + ... + 「補正点」

もしくは

評価 = 「上書き」

成績評価 - テストコース0001

» 使い方

この表をダウンロード

- 換算点・評価一覧 (» CSV形式, » テキスト形式)
- 素点一覧 (» CSV形式, » テキスト形式)

» 成績登録データ出力

» 評価教材の編集

再計算

氏名	ユーザID	出席番号	評価配点	評価教材		評価修正		評価
				合計	補正点	上書き	評価	
0.00	CSVで取込	四捨五入	切り捨て	保存				
学生user0005	user0005	1	換算点 調整点 素点	0.00			0	
学生user0007	user0007	2	換算点 調整点 素点	0.00			0	
学生user0006	user0006	11	換算点 調整点 素点	0.00			0	
学生user0008	user0008	22	換算点 調整点 素点	0.00			0	
学生user0003	user0003	111	換算点 調整点 素点	0.00			0	

評価教材が選択されていません。
補正点や上書きに直接点数を入力するか、
評価教材を編集してください。

この拡張により、教材ごとの点は素点を調整すること無く重み付けだけを行い、「評価修正」のところ調整を行うことで、評価の算出過程がわかりやすくなります。

2.3 コースのレストア

コースのレストア機能では、用語集やグループ設定など未対応だったデータのレストアに対応しました。また、レストアのためのバックアップファイルは最大で10GB までのファイルをアップロードできるようになりました。

WebClass
検証コース 管理

教材一覧 教材 - 成績 - 出

開講情報 コース設定 シラバス

このコースのバックアップを取ったりデータ

- バックアップ/レストアには時間が
- バックアップでは作成した教材と
- バックアップしたデータは圧縮フ
- レストアするときはどの教材を復

バックアップデータのレストア

Choose File | wc_backup20220711.tar
□ アップロードできるファイルサイズ上限: 10.00 GB

開込み

バックアップ

バックアップデータ作成

レストアするバックアップファイルのアップロード

処理状況: wc_backup20220711.tar(1.44 GB)

13 %

アップロード中

取り消し

最近では教材に動画を使うことも多く、コースのバックアップファイルは数百メガバイト以上に大きくなることもあります。一方、WebClass のファイルのアップロードフォームは通常は 300MB 程度にファイルサイズ上限がかかっており、コースのバックアップファイルをアップロードすることができないケースがありました。 レストアのファイルアップロードフォームに限っては、この上限に関わらず、10GB までファイルをアップロードできます。

アップロード中は別ウインドウや別のブラウザを含め、同じアカウントで WebClass の操作をしないでください。

3 変更一覧

3.1 時間割

- 締め切りが近いレポート課題があるコースでは、利用可能グループの設定で課題を利用できない学生に対しても「締め切りが近い課題があります」の表示が出ていました。利用可能グループ設定を反映するようにしました。(!2997)

3.2 教材

- コースの「教材一覧」画面で資料教材のコピーを行う時、サーバ側に不要なファイルが作成されていたのを修正しました。(!2921)
- 「テスト」教材のエクスポート・インポートで、ピアレビュー対応情報も保存・復元するようにしました。(!2995)
- 「SCORM 教材」のエクスポートの時に、ユーザデータを書き出さないようにしました。(!3057)

3.3 LTI

- LTI Version1.3 のツール登録に対応しました。(!2993, !3035)
 - LTI1.3 の接続機能のみ対応しています。LTI1.3 の拡張機能である LTI Advantage は未対応です。

3.4 テスト・アンケート

- 単一ページ表示のテストを PC 画面で開いたとき、何も回答しないで採点やしおりを付けて閉じると、採点結果での表示やしおりから再会したときに問 1 しか表示されない問題がありました。画面を閉じるときの保存処理を修正して、一通りの設問を表示するようにしました。(!3015)

3.5 成績一覧

- 「成績一覧」画面で SCORM2004 教材の点数の表示が 0 になる不具合を修正しました。(!2962)

3.6 問題ごとの成績画面

- ランダム出題のテスト教材を再採点すると、学生がテスト結果画面で採点結果を確認するとき、設問の表示順番が入れ替わって表示されるケースがありました。再採点するとき設問の順番が変わってしまわないようにしました。(!2924)
 - この問題はランダム出題ありかつ設問の抽出数を指定しないときに起きていました。各設問の採点結果に影響はありませんでした。

3.7 成績評価

- 合計点を差し引きする「補正点」、合計点を上書きする「上書き」、「補正点」「上書き」を反映した最終的な評価となる「評価」の列を追加しました。(!2960, !3003)

3.8 ピアレビュー

- 学生がピアレビューの採点をしているとき、時間がたつとセッション切れを起こしていました。セッションの自動更新処理を加えました。(!2925)

3.9 カルテ

- ドロップダウン形式の設問がある時、ユーザー一覧を表示するときにシステムエラーが起きることがある問題を修正しました。(!3009)
- 「未解答」の回答があるとき、ユーザー一覧の表示で「カウンタ設定」を「使用する」を利用するとシステムエラーが起きることがある問題を修正しました。(!3009) ルーブリックの設問にルーブリックの段階の記述が入力されていないときは、一括更新の処理が CSV ファイルから更新する値を正しく読み込んでいませんでした。段階記述がない時は段階番号を、段階記述がある時は段階記述を読み取って回答保存するようにしました。(!3009)
 - ユーザー一覧での画面表示と CSV の出力は、段階記述がないときは段階番号を、段階記述がある時は段階記述を出力する仕様です。

3.10 バックアップ・レストア

- 「FAQ/用語集」のレストア機能を追加しました。(!2932, !2938, !3010)
- 「グループ設定」のレストア機能を追加しました。(!2938, !3010)
- 「会議室」のレストアで、既読判定のデータも復元するようにしました。(!2942, !3010)
- 「学習カルテ」のレストアで、カルテのデータ属性が「個人(本人)」と「コース」の場合にデータが抜けていたので追加しました。(!2950, !3010)
- 「テスト」の解答は、複数コースの解答をまとめてバックアップしています。レストアする際、全ての解答をレストア先のコース ID で登録していましたが、レストアする解答のコース ID がバックアップ時のコース ID と同じ場合はレストア先の、異なる場合はバックアップ時のコース ID で登録するようにしました。(!2950)
- 「SCORM 教材」のレストアで、ユーザデータも復元するようにしました。(!2958, !3010, !3057)
- 「テスト」のレストアで、再提出のデータも復元するようにしました。(!2979, !3010)

- 「テスト」のレストアで、ピアレビューのデータも復元するようにしました。(!2980,!3010)
- 「出席状況」のレストアで、更新履歴も復元するようにしました。(!2999)
- 「LTI ツール教材」の LTI ツールデータは、システムに登録しているキー情報のため、バックアップ・レストア対象から外しました。(!2987,!3010,!3047,!3056)
- 「資料内 URL のクリック履歴」も復元するようにしました。(!3000)
- 「類似レポート検知」のジョブ結果も復元するようにしました。(!3001)
- 「成績評価」の成績調整機能と評価修正をバックアップするようにしました。(!3036)
- 「成績評価」も復元するようにしました。(!3036)
- レストアのためにアップロードするファイルを、ファイルサイズ 10GB まで対応できるようにしました。(!3020)
 - これまではサーバ (PHP)のアップロードファイルサイズ上限の設定で数百 MB までの制約がありました。
 - この変更により、PHP の設定にかかわらず最大 10GB までアップロードできるようになります。

3.11 お知らせ

- システムオプション `INFORMATIONS_DEFAULT_OPEN_PERIOD` でコース管理者が投稿するお知らせのデフォルトの公開終了日を投稿日からの日数で指定できるようにしました。(!3027)
 - 指定した場合は、公開終了日の「指定する/しない」の選択肢もデフォルトで「指定する」が選択されるようになります。

3.12 その他

- マニュアルを更新しました。(!3035)
- システム管理者のプロフィールに学部を設定すると、設定された学部のコースに対してのみ操作出来るようになりました。(!3064)
 - 学部管理者は学科情報の指定やコースの設定、コース内の教材の確認、学部および学科情報が設定されたユーザ情報からコースメンバーを検索して登録する事ができます。学部管理者はシステム全体に関する管理はできません。
 - 本機能を利用する際にはサポートデスクに相談ください。

3.13 学習記録ビューア

- 学習記録ビューア v4.5.5 => v4.5.6
- 課題実施状況一覧プラグイン v3.0.2 => v3.1.0
- 修学カルテプラグイン v2.24.1 => v2.30.1
- 授業評価アンケートプラグイン v2.17.1 => v2.18.0
- WebClass ユーザ活動情報プラグイン v2.3.1 -> v2.3.2